

通小町

古名

市原小町

又

四位少将

觀阿弥作

季は 地は ワキ
秋 山城 ツレ 八瀬の僧
シテ 小野小町
深草少将

「是は八瀬の山里に一夏を送る僧にて候。こゝに何処とも知らず女性一人。毎日本実妻木を持ちて来り候。今日も来りて候はゞ。如何なる者ぞと名を尋ねばやと思ひ候。

ツレ次第「拾ふ妻木も焼物の。く。匂はぬ袖ぞ悲しき。

サシ「是は市原野のあたりに住む女にて候。

「さても八瀬の山里に。貴き人の御入り候ふ程に。いつも木実妻木を持ちて参り候。今日もまた参ら

ばやと思ひ候。如何に申し候。又こそ参りて候へ。

ワキ詞「いつも来れる人か。今日は木実の数々御物語り候

へ。

ツレ「拾ふ木実は何々ぞ。

地

「拾ふ木実は何々ぞ。

地

「古へ見馴れし車に似たるは。嵐にもろき落椎。

地

「歌人の家の木実には。

ツレ「人丸の垣穂の柿。山の辺の筐栗。

地「窓の梅。

ツレ「園の桃。

地「花の名にある桜麻の。苧生の浦梨猶もあり。櫟か
しひまでばしひ。大小柑子金柑。あはれ昔の恋し
きは。花たちばなの一枝。く。

ワキ詞「木実の数々は承りぬ。さてく御身は如何なる人
ぞ名を御名乗り候へ。

ツレ「恥かしや己が名を。

地「おのとはいはじ薄生ひたる。市原野辺に住む姥ぞ。

跡とひ給へ御僧とて。かき消すやうに失せにけり。

く。

ワキ詞

「かゝる不思議なる事こそ候はね。唯今の女性の名
を委しく尋ねて候へば。おのとはいはじ薄生ひた
る。市原野に住む姥とて。かき消すやうに失せて
候。こゝに思ひ合はする事の候。或人市原野を通
りしに。薄一村生ひたる蔭よりも。秋風の吹くに

付けてもあなめあなめ。小野とはいはじ薄生ひけりとあり。是れ小野の小町の歌なり。さては疑ふ所もなく唯今の女性は。小野の小町の幽靈と思ひ候ふ程に。彼市原野に行き。小町の跡を弔はゞやと思ひ候。

歌
「此草菴を立ち出でゝ。く。猶草深く露しげき。

市原野辺に尋ね行き。座具を展べ香を焼き。南無幽靈成等正覺。出離生死頓生菩提。

ツレ
「うれしの御僧の弔ひやな。同じくは戒授け給へ御僧。

シテ
「いや叶ふまじ戒授け給はゞ。恨み申すべし。早帰り給へ御僧。

ツレ
「こは如何にたまゝかゝる法に逢へば。猶其苦患を見せんとや。

シテ
「二人見るだに悲しきに。御身一人仏道ならば我思ひ。重きが上の小夜衣。重ねて憂き目を三瀬川に。

沈みはてなば御僧の。授け給へるかひも有るまじ。

早帰り給へや御僧達。

地「猶も其身は迷ふとも。く。戒力に引かれば。な
どか仏道ならざらん。唯共に戒を受け給へ。

ツレ「人の心は白雲の。私は曇らじ心の月。出でゝ御僧
に弔はれんと。薄おし分け出でければ。

シテ「包めど我も穂に出でゝ。く。尾花招かば留まれ
かし。

ツレ「思ひは山のかせきにて。招くと更に留まるまじ。

シテ「さらば煩惱の犬となつて。打たるゝと離れじ。

ツレ「恐ろしの姿や。

シテ「袂を取つて引きとむる。

ツレ「引かるゝ袖も。

シテ「ひかふる。

地「我袂も。共に涙の。露深草の少将。

ワキ詞「さては小野の小町四位の少将にてましますかや。

とてもの事に車の榻に。百夜通ひし所をまなうで
御見せ候へ。

ツレ「もとより我は白雲の。かゝる迷ひの有りけるとは。

シテ詞「思ひもよらぬ車の榻に。百夜通へと偽りしを。ま

ことゝ思ひ。晩毎に忍び車のしきに行けば。

ツレ「車の物見もつゝましや。姿を変へよといひしかば。

シテ詞「輿車はいふに及ばず。

ツレ「いつか思ひは。

地「山城の。木幡の里に馬は有れども。

シテ「君を思へば徒步跣足。

ツレ「さてその姿は。

シテ「笠に簾。

ツレ「身の浮世とや竹の杖。

シテ「月には行くも暗からず。

ツレ「さて雪には。

シテ「袖を打ち払ひ。

ツレ 「さて雨の夜は。

シテ 「目に見えぬ鬼一口も恐ろしや。

ツレ 「たまく曇らぬ時だにも。

シテ 「身一人に降る涙の雨か。あら暗の夜や。

ツレ 「夕暮は。一方ならぬ思ひかな。

シテ 「夕暮は何と。

地 「一方ならぬ思ひかな。

シテ 「月は待つらん月をば待つらん。我をば待たじ空言

や。

地 「暁は。く。数々多き思ひかな。

シテ 「我為めならば。

地 「鳥もよし鳴け鐘も唯鳴れ。夜も明けよたゞ。一人
寐ならばつらからじ。

シテ 「かやうに心を尽し尽して。

地 「かやうに心を尽し尽して。榻の数々よみて見たれ
ば。九十九夜なり。今は一夜ようれしやとて。待

つ日になりぬ。急ぎて行かん。姿は如何に。

シテ
「笠も見苦し。

地
「風折鳥帽子。

シテ
「簾をも脱ぎ捨て。

地
「花摺衣の。

シテ
「色重ね。

地
「裏紫の。

シテ
「藤袴。

地
「待つらん物を。

シテ
「あら急がしやは早今日も。

地
「紅の狩衣の。衣紋けたかく引きつくろひ。飲酒は
如何に。月の盃なりとても。戒めならば保たんと。

唯一念の悟にて。多くの罪を滅して。小野の小町
も少将も。共に仏道成りにけり。く。